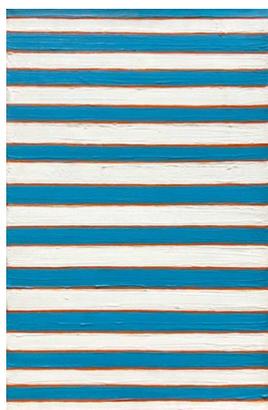


施行 : FAX ・ メールBOX		令和 7 年 8 月 7 日
報道機関 各位		
東御市からのお知らせ		
タイトル	特別展「STRIPE—水平線 戦後 80 年 山田正亮と焼け跡の前衛」について	
日 時	令和 7 年 9 月 6 日 (土) ~11 月 3 日 (月・祝)	
場 所	東御市梅野記念絵画館・ふれあい館	送信枚数 2 枚(本書含む)
○会期 令和 7 年 9 月 6 日 (土) ~11 月 3 日 (月・祝)		
○開館時間 9 : 30~17 : 00 (最終入館 16 : 30) ※休館日 月曜日、祝日の翌日		
○会場 梅野記念絵画館 大展示室		
○入館料 800 円 (団体 700 円 障がい者割引有 中学生以下無料)		
○概要		
<p>2025 年、日本は戦後 80 年をむかえます。戦争は多くの人々の暮らしを変え、その価値観に大きな影響を与えた出来事でしたが、それは同時代の画家たちにとっても例外ではありませんでした。敗戦後、新たな時代へと社会の改革が進むなか、前衛画家たちは革新的な表現活動を行っていました。それと同時に、アメリカを中心とした前衛美術が日本の絵画界へ流入し、日本において独自の絵画表現が広がっていく時代でもありました。復興期にある日本では自由や個性を追求する風潮が強まり、多様な前衛表現が生まれていくこととなります。ストライプ絵画を描き続けた、孤高の画家山田正亮もその一人でした。その絵は、アメリカ近代美術との共鳴を感じさせる一方で、繊細な色彩の調和はどこか日本的な美的感覚を宿しています。</p> <p>本展では、戦後 80 年の節目に、動乱期の前衛美術に視線を向け、戦後の憔悴した社会の中で独自の絵画を追求した画家山田正亮を中心に、日本の抽象運動を牽引した長谷川三郎や吉原治良などを紹介します。本展は知られざる山田正亮の作品が信州に集まる貴重な機会となります。展覧会を通して、60 年代抽象表現の魅力と梅野隆の前衛への視点を探ることを試みます。</p>		
担当部課：東御市文化・スポーツ振興課文化振興係梅野記念絵画館		
担当者：佐野悠斗		
TEL : 0268-61-6161	FAX : 0268-61-6162	E-mail : umenokinen@ueda.ne.jp

## 特別展

### “STRIPE”—水平線 戦後80年 山田正亮と焼け跡の前衛



山田正亮《Work C. 134》 1963年 油彩・キャンバス（左）

山田正亮《Work C. 56》 1960年 油彩・キャンバス（中央）

山田正亮《Work F. 351》 1995年 油彩・キャンバス（右）

#### 1 開催趣旨

このたび東御市梅野記念絵画館では、特別展「“STRIPE”—水平線 戦後80年 山田正亮と焼け跡の前衛」を開催いたします。

戦後の日本では、時代を再構築する気運の中で、前衛作家たちは壊滅的な状況乗り越え、革新的表現を生み出してきました。さらには、新たな世代の表現者たちが歩みをはじめ、現代美術が形作られていく時代でもありました。本展では、日本の抽象運動を牽引した長谷川三郎や吉原治良をはじめ、シュルレアリスムの実践者伊藤久三郎や浪漫の半抽象を描く菅野圭介など、梅野記念絵画館初代館長・梅野隆が、40年以上にわたって蒐集した梅野コレクションの中から、時代を象徴する前衛作品たちを紹介します。

さらに、戦後の憔悴した社会から出発し、独自の絵画実践で300点を超えるストライプ絵画を描き続けた孤高の抽象画家・山田正亮の作品を展覧します。その絵はアメリカ・モダンアートと共鳴するかのような現代抽象の鼓動を感じさせる一方で、画面を紡ぐような繊細な色彩の調和はどこか日本的な美を宿しています。戦後の前衛美術において特異な活動を示した山田は、1960年代のストライプ絵画が高く評価され、2016年には東京および京都国立近代美術館を巡回する大規模な回顧展が開催されました。

本展は、蒐集家梅野隆の理念を引き継ぐ梅野記念絵画館の、個人コレクター所有の山田正亮作品が見どころです。そのため、これまでに未公開の知られざる作品も多数展示する貴重な機会となります。戦後を取り巻く前衛画家の物語と、空間を包むストライプ絵画の美の調和をお楽しみください。

#### 2 会期

令和7年9月6日（土）～11月3日（月・祝）

※休館日 月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

### 3 入館料

一般 800 円（団体 700 円）、中学生以下無料

※ナイトミュージアム開催日（10 月 7 日は 17 時以降無料）

### 4 会場

東御市梅野記念絵画館 大展示室

### 5 主催

東御市梅野記念絵画館

### 6 展示の概要

序章 梅野コレクションの前衛

第一章 「空白」から静物、そして抽象へ 1948~1955 , 1956~1959

第二章 反復する絵画への到達 1960~1969

第三章 「集積された平面」へ 1970~1979

第四章 「円環」の成立 1980~1989 , 1990~1995

梅野コレクション作品 10 点および山田正亮作品・資料 58 点を展示

### 8 関連イベント

- ・オープニング講演会 「山田正亮 ストライプの触覚—焼け跡の地平線と染織の記憶」

講師：岡部昌幸（東御市梅野記念絵画館館長）

日時：9 月 6 日（土）14 時～

聴講無料

- ・記念講演会 「20 年後の山田正亮展 その人と作品について」

講師：神山亮子（府中市美術館学芸員）

日時：10 月 5 日（日）14 時～

聴講無料

- ・ワークショップ「グラスサンドアートで色の層をつくろう！」

講師：吉田禎（日本サンドペインティング協会公認インストラクター）

日時：10 月 5 日（日） 午前の部 10：00~/午後の部 13:30～

参加費：700 円

定員：各 10 名（要予約 梅野記念絵画館まで電話申し込み）

PRESS RELEASE

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

**お問い合わせ** 東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 東御市八重原935-1

Tel:0268-61-6161 fax:0268-61-6162 Email:umenokinen@ueda.ne.jp

○展示内容について 学芸員 佐野悠斗（さの ゆうと）

○広報・取材・画像提供等について 学芸員 佐野悠斗（さの ゆうと）